

演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402

必修 2単位

喜多 康夫

1. 授業の概要(ねらい)

本演習の目的は5つあります。第1に、国際法の基礎知識の習得です。第2に、リーガルマインドの涵養です。第3に、社会への関心の育成です。第4に、報告の仕方とレポートの書き方を身に着けてもらいたいと思います。第5に、他の人たちと協力して仕事ができるようになることです。

第1点目と第2点目については、国際法の教科書について報告してもらい、できるかぎり教員と学生との対話を重視したいと思います。

第3点目については、国際法を学ぶ基礎として世界の動向を知るために、日本経済新聞をゼミで読みます。

第4点目については、報告におけるレジュメの作成と報告の実施、および成績評価のためのレポートを作成してもらうことによって、学術能力を向上してもらいたいと考えています。

第5点目については、授業での報告はグループワークとして行ってもらうことで、他の人たちとの協力作業を行ってもらいます。

2. 授業の到達目標

- ①国際法の体系を理解する
- ②基本的な世界の動向を知る。
- ③論理的に自己の主張を展開できる。

3. 成績評価の方法および基準

(報告や質疑応答などの)授業貢献及びレポートにより評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

杉原高嶺 『基本国際法(第3版)』(有斐閣、2018年)

薬師寺公夫・坂元茂樹・浅田正彦・酒井啓亘(編集代表) 『判例国際法(第3版)』(東信堂、2019年)

条約集についてはまた後日において知らせしますが、指定する条約集は必須です。

5. 準備学修の内容

報告内容をレジュメにまとめてもらい、グループとして報告をしてもらいます。その準備と予習は必要です。

6. その他履修上の注意事項

【関連科目】この法律学演習は国際法のゼミなので、国際法の基礎知識はやはり必要です。そのため、国際法体系の全体構造に関する授業である「国際法Ⅰ(歴史・法源)」、「国際法Ⅱ(主体)」、「国際法Ⅲ(空間)」及び「国際法Ⅳ(秩序維持)」を履修することが望ましいと考えます。また、さらに国際法の専門分野として、「国際組織法Ⅰ／Ⅱ」「国際人権法」「国際安全保障法」「国際経済法Ⅰ／Ⅱ」「国際裁判所論Ⅰ／Ⅱ」「国際刑事法Ⅰ／Ⅱ」なども直接的にも、または間接的にもこのゼミに関連します。

【学生へのメッセージ】学部生時代を振り返れば、一番楽しかった授業は演習でした。ゼミ仲間との議論や親睦は今でもいい記憶です。本演習ではしっかりと勉強してもらいますが、勉強を知的な遊びと感じてもらえると嬉しいです。

質問のある学生は、yaskita@main.teikyo-u.ac.jpにまでメールを送ってください。なお、その場合は表題に「・・・の件」とした上で、氏名及び学籍番号と用件の内容をメール本文に記して送ってください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 【第1回】 | ・オリエンテーションと報告決定
・日経新聞輪読 |
| 【第2回】 | ①A班: 国家領域
・日経新聞輪読 |
| 【第3回】 | ②B班: 海洋の構造
・日経新聞輪読 |
| 【第4回】 | ③C班: 空域と宇宙
・日経新聞輪読 |
| 【第5回】 | ④D班: 国際機構
・日経新聞輪読 |
| 【第6回】 | ⑤A班: 国籍と外国人
・日経新聞輪読 |
| 【第7回】 | ⑥B班: 人民の自決権と少数民族
・日経新聞輪読 |
| 【第8回】 | ⑦C班: 国際的人権保障
・日経新聞輪読 |
| 【第9回】 | ⑧D班: 国際犯罪者の処罰
・日経新聞輪読 |
| 【第10回】 | ⑨A班: 国家責任
・日経新聞輪読 |
| 【第11回】 | ⑩B班: 国際紛争の平和的解決
・日経新聞輪読 |
| 【第12回】 | ⑪C班: 国際安全保障
・日経新聞輪読 |
| 【第13回】 | ⑫D班: 武力紛争法
・日経新聞輪読 |
| 【第14回】 | ・任意の報告者による自由報告
・日経新聞輪読 |
| 【第15回】 | ・オンライン授業 |